都産無花粉スギ採種園造成のための技術確立

【研究概要】

これまで、富山県の無花粉スギと、東京都の精英樹および静岡県、神奈川県のヘテロ型個体を交配、選抜し、多摩地域に適応性の高い無花粉スギを開発してきた。無花粉スギの種子生産を行うことを想定し、これまでに開発した無花粉スギならびに関東のヘテロ型精英樹を交配親に用い、それぞれの品種の種子の充実率および着花性を把握することを目的に試験を実施した。

（１）充実種子率は、母樹の根元径、枝張りと関連を示した。母樹の樹体サイズが一定以下の場合では、種子の充実率が極端に低くなり、適切に種子の充実率が評価できないと考えられる。

（２）開発した無花粉スギ「心晴れ不稔１～５号」およびヘテロ型精英樹である「中４号、箱根４号、片浦６号、天竜11号、大井７号、西多摩８号」の着花特性を調査し、交配親としての特性を評価した。